

1 議事日程

[令和5年太宰府市議会 予算特別委員会]

令和5年2月28日

午前11時35分

於 全員協議会室

日程第1 議案第14号 令和4年度太宰府市一般会計補正予算(第8号)について

日程第2 議案第16号 令和5年度太宰府市一般会計予算について

2 出席委員は次のとおりである(16名)

委員長	陶山良尚	議員	副委員長	木村彰人	議員
委員	タコスキッド	議員	委員	馬場礼子	議員
〃	今泉義文	議員	〃	森田正嗣	議員
〃	入江寿	議員	〃	徳永洋介	議員
〃	船越隆之	議員	〃	堺剛	議員
〃	笠利毅	議員	〃	原田久美子	議員
〃	神武綾	議員	〃	小畠真由美	議員
〃	橋本健	議員	〃	門田直樹	議員

3 欠席委員は次のとおりである(1名)

委員 長谷川公成 議員

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名(11名)

総務部長	山浦剛志	総務部経営 企画担当理事	村田誠英
市民生活部長	中島康秀	健康福祉部長	川谷豊
健康福祉部高齢者福祉担当理事 兼高齢者支援課長	行武佐江	都市整備部長	高原清
都市整備部理事	山崎謙悟	観光経済部長	友添浩一
兼総務部理事	中山和彦	教育部理事	堀浩二
教育部長	藤井泰人		
兼文化学習課長			
教育部理事			

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名(3名)

議会事務局長	木村幸代志	議事課長	花田敏浩
書記	井手梨紗子		

開会 午前11時35分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、日程第2、議案第16号の概要説明を受けるのみとし、審査は3月16日木曜日午前10時から及び17日金曜日午後1時から行います。日程第1、議案第14号の審査は、3月8日水曜日午後1時から行います。

議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第16号 令和5年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（陶山良尚委員） 日程第2、議案第16号「令和5年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について概要の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（山浦剛志） 議案第16号「令和5年度太宰府市一般会計予算」につきまして、お手元にお配りしております当初予算説明資料に沿って説明をさせていただきます。

まず、1ページ目をお開きください。

ここに予算総括表と、下段に令和元年度から5年間の当初予算額の推移をグラフとして載せております。

予算総括表の一番上の一般会計、黄色の網かけの部分ですが、令和5年度の一般会計予算総額は289億2,699万5,000円となっております。前年度予算と比較いたしますと1億984万5,000円の減額、減ですね、率でいいますと0.4%の減となっております。

これ以下につきましては特別会計、企業会計でございまして、所管の常任委員会のほうにそれぞれ付託予定の案件になっております。

それでは、歳入、歳出の順番で、前年度比較で増減額の大きなものを中心に説明をしたいと思います。

2ページ目をお開きください。歳入の款別内訳を載せております。

まず、1款市税ですが、市税全体としましては総額85億9,308万2,000円を計上しており、前年度と比較いたしますと2億3,733万8,000円、2.8%の増となっております。市税の内訳につきましては3ページに載せておりますが、新型コロナウイルスや原油価格、物価高騰などの影響が続く中ではありますが、本市が行ってきたコロナ対策の効果が一定程度現れてきたこと、また国の月例経済報告におきましても景気が持ち直していく見込みと示されておまして、主なものといたしまして、前年度に比べ個人市民税で8,194万円、2.2%の増、固定資産税で9,204万2,000円、2.9%の増、また歴史と文化の環境税で500万円、8.9%の増を見込んでおります。

2ページのほうに戻っていただきまして、7款地方消費税交付金でございまして、こちらに

つきましては、令和5年度地方財政対策を基に算定しておりますが、前年度と比較し1億3,000万円、8.3%の増を見込んでおります。

次に、10款地方特例交付金でございますが、令和4年度の決算見込みと令和5年度の地方財政対策を基に算定しまして、前年度と比較し3,300万円、63.5%の増を見込んでおります。

次に、11款地方交付税でございます。こちらにつきましても地方財政対策を勘案しまして算定しておりますが、令和5年度地方財政対策では、地方交付税全体として前年度比1.7%の増とされておりますが、令和4年度の交付基準額を基に、市税の増なども踏まえ算出したしました結果、地方交付税全体としては微増と見込んでおります。

次に、13款分担金及び負担金でございます。原因者の負担による文化財発掘調査の減などによりまして、2億1,157万4,000円、37.4%の減としております。

次に、15款国庫支出金でございますが、新型コロナウイルスワクチン接種事業が主な要因となり、8億5,549万6,000円、12.4%の減としております。

次に、18款寄附金でございますが、ふるさと太宰府応援寄附につきまして、戦略的シティプロモーションや魅力ある返礼品の拡充など積極的に取り組み、令和4年度は12億円を突破する見込みでありますことから、令和5年度は15億円を見込み、より多くの寄附をいただけるよう取り組んでまいります。

次に、19款繰入金でございますが、中学校完全給食の実施をはじめ水城小学校の増改築、また年々増加する社会保障費への対応などに基金を活用し、前年度と比較して4億6,694万1,000円、76.1%の増としております。

次に、22款市債でございますが、前年度から4億9,210万円、24.6%の減としております。これは、臨時財政対策債について、令和5年度地方財政対策を基に、市税や地方交付税などの増減を踏まえて算定し、2億8,000万円の減、そして令和4年度に大規模な道路橋梁新設改良事業や環境美化センターの設備更新、また小学校施設の各種改修など市債を活用した事業を多く実施したことが主な減要因となっております。

続きまして、4ページには、ただいま説明を申し上げました数字を自主財源、依存財源別に分けまして、その内訳を示しております。

自主財源につきましては、分担金、負担金などが減となりましたが、市税や寄附金、繰入金などが大幅増となっており、前年度から10億1,335万5,000円の増となっております。

また、依存財源につきましては、地方消費税交付金や地方特例交付金などが増となった一方で、国庫支出金や市債が大幅減、そのほか地方譲与税なども減となり、前年度から11億2,320万円の減となっております。

次に、歳出の説明をさせていただきます。

5ページをご覧ください。歳出の目的別内訳を載せております。

総務費につきましては、ふるさと納税の増収に伴うふるさと納税関連経費が約2億4,600万円の増、また飛躍的に増加したふるさと納税の計画的活用を目的として令和4年9月に創設し

ました令和の都太宰府ふるさと納税基金に約1億円を積み立てることとしたこと、そのほか令和5年4月執行予定の県議会議員選挙の費用が増となった一方で、令和4年7月執行の参議院議員選挙の費用が減となったことなどから、3億7,702万7,000円、11.6%の増となっております。

次に、民生費につきましては、コロナ支援事業であります住民税非課税世帯等臨時特別給付金や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金が減となりましたが、こども家庭センターの開設や子どもの居場所づくり、シングルマザー支援事業、また障がい福祉サービス利用者の増加に伴う介護・訓練等給付費や障がい児通所支援給付費の増などによりまして、1億4,620万3,000円、1.2%の増となっております。

次に、衛生費につきましては、妊娠期から出産、子育て期にわたる伴走型相談支援と経済的支援の実施に要する費用が増したものの、新型コロナウイルスワクチン接種事業や環境美化センターの設備更新費が減となったことなどによりまして、6億2,549万7,000円、23.5%の減となっております。

次に、農林水産業費につきましては、ため池の安全対策に係る劣化状況評価や耐震診断の費用、森林環境譲与税を活用した森林整備の費用などの増により、1億402万1,000円、52.3%の増となっております。

次に、土木費につきましては、市単独事業として実施する道路改良事業等は増額し推進する一方で、令和4年度は国の社会資本整備交付金を活用した事業が多くかかったこともあり、全体としては2億4,584万円、14.1%の減となっております。

次に、教育費につきましては、引き続き水城小学校の増改築を推進するとともに、中学校完全給食も開始されることなどから、9,364万9,000円、2.1%の増となっております。

6ページをご覧ください。こちらには歳出の性質別内訳を載せております。

一番上が義務的経費でございます。このうち扶助費につきましては、保育園の開設に伴う教育・保育給付費の増や障がい福祉サービス利用者の増加に伴う介護・訓練等給付費、障がい児通所支援給付費などの増により、4億2,736万3,000円、5.4%の増となっております。その一方で、公債費につきましては、市債残高の減に合わせて償還額も減少してきておることから、7,382万8,000円、2.9%の減となっております。

次に、消費的経費でございますが、補助費等につきまして、新型コロナウイルスワクチン接種事業における医師等謝礼や住民税非課税世帯等臨時特別給付金が前年度から減となったことなどから、3億6,698万5,000円、12.4%の減となっております。

次に、投資的経費でございます。普通建設事業費につきましては、市単独で実施する道路改良事業や中学校完全給食のための施設整備などにより、単独事業は増となっておりますが、国の社会資本整備交付金を活用した事業の減や、令和4年度は保育園が新設されることなどもあり、補助事業としては減となっております。全体では4億1,912万2,000円、11.9%の減となっております。

最後に、その他のところになりますが、繰出金につきまして、後期高齢者医療に係る事業費の影響などにより、8,306万5,000円、3.1%の増、積立金につきまして、令和の都太宰府ふるさと納税基金への積立てなどにより、1億909万円、151.3%の増となっております。

なお、これ以降、7ページから25ページまでは、楠田市政2期目の公約に基づきまして、市民ニーズにも積極的に応えていくべく、まちづくりビジョンに沿った重点項目を設定し、様々な新機軸も盛り込んだ重点予算について掲載をしておりますが、先ほど施政方針の中で市長自ら詳しく述べられましたので、ご参照いただければと思います。

以上、簡単ではございますが、私のほうからの説明とさせていただきます。

よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

質疑は、3月16日及び3月17日の予算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 本日はこれをもちまして散会します。

散会 午前11時48分

~~~~~ ○ ~~~~~